

記載例

地域医療介護総合確保基金の活用に係る事業提案書(令和7年度事業分)

※事業提案(別紙様式)作成要領を参照し記入してください。

団体名	千葉県〇〇会			
担当者	所属	千葉県〇〇会総務課	電話番号	043-〇〇〇-〇〇〇〇
	職	事務長	FAX	043-〇〇〇-〇〇〇〇
	氏名	千葉太郎	E-mail	XXXX@XXXX.XX.jp

1 (優先度が高い順番に番号をふってください)	事業名											
	事業区分	医療分野		チェック欄	標準事業例番号	事業番号	介護分野		チェック欄	事業一覧番号	事業番号	
			ア	✓	1			ア				
			イ					イ				
			ウ					ウ				
	※標準事業例番号欄には、別添1「事業例(国の標準事業例)一覧(医療分)」を、計画事業番号欄には別添3-2「令和5年度計画事業一覧(案)」を参考に該当する事業番号を記入してください。		※事業一覧番号欄には、別添2「事業例一覧(介護人材確保分)」を参考に該当する事業番号を、計画事業番号欄には別添3-2「令和5年度計画事業一覧(案)」を参考に該当する事業番号を記入してください。									
	事業の実施者 (基金の交付先)		医療機関、市町村、地区医師会など									
	事業対象となる区域 (該当圏域に☑)		☒ 県全域 ☐ 千葉 ☐ 東葛南部 ☐ 東葛北部 ☐ 印旛 ☐ 香取海匝 ☐ 山武長生夷隅 ☐ 安房 ☐ 君津 ☐ 市原									
	地域の現状と課題		(現状) ・増加する医療需要に対応するための医療従事者の確保が必要だが、千葉県の医療従事者数は全国的にも乏しく、限られた医療資源の中で効率的で質の高い医療を提供する必要がある。 ・各圏域で医療介護連携体制の構築は進みつつあるが、インフラ整備には費用がかかるため、システム整備までに至らず、県内の一部でしかシステム導入がなされていない状況である。 (課題) ・医療情報の効率的な情報共有ができないため、重複検査が行われる等効率的で質の高い医療を提供できない。 ・病院とかかりつけ医の連携が促進しない。									
	事業のねらい (課題解決策)		地域の実情にあわせて、病院が保有している患者の診療情報を診療所等が活用できる情報ネットワークを形成することで、急性期から回復期、さらには在宅復帰までの切れ目のない医療情報システムを導入し、医療連携を促進する。									
事業内容		(事業内容) 地域の医療資源を有効に活用し、患者に質の高い医療を提供できる体制づくりを促進するために、医療機関等が行う医療情報連携システムの導入に対して補助する。ただし、システムの効果的な運用のために以下のような条件を付す。 ①参加医療施設には急性期病院(サーバーシステム設置施設)、回復期病院、在宅患者の急変時に受入れを行う病院、診療所を全て1施設以上含んでいること。 ②参加施設がシステム運用開始時から10施設以上あること。 ③ ④ (積算内訳) 1/2補助 システム構築費 〇〇円 サーバー機器購入費 〇〇円 PC× 〇台=〇〇円 回線接続費 〇〇円×〇箇所 * 維持費、管理費は対象としない										
事業の効果		・検査・診療情報が共有できることにより、検査の役割分担の促進や、かかりつけ医と専門医の機能分化が進み、患者は入退院時等やかかりつけ医等において、継続性の高い医療の提供を受けることができる。 ・患者は、重複検査、重複した薬剤処方回避ができる。 ・システム利用者数 〇〇人(令和6年度末)										
事業の効果が及ぶ職種 (該当職種に☑)		☒ 医師 ☒ 歯科医師 ☐ 薬剤師 ☐ 看護職員 ☐ 理学療法士 ☐ 作業療法士 ☐ 言語聴覚士 ☐ 介護福祉士 ☐ 社会福祉士 ☐ 介護支援専門員 ☐ 生活相談員 ☐ ヘルパー ☐ その他()										
事業期間		令和 7 年 4 月 ~ 令和 10 年 3 月										
概算 事業費 (千円)	年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計	事業の提案状況					
	総事業費 (千円)	33,000	33,000	33,000		99,000	☒ 今回初めて提案 ☐ R5年度分以前の提案 ☐ R6年度分事業提案(昨年度提案)					
	基金充当額 (千円)	16,500	16,500	16,500		49,500						

事業が複数ある場合は、事業ごとにファイルを分けて作成ください。A列に優先度が高い順に番号をご記入ください。

※ (参考)セル内で改行するときは、改行したい位置で、[Alt]キーを押したまま[Enter]キーを押すと改行されます。